

まちのうごき

(9月1日現在)	(8月中)	
世帯数 17,145世帯	生まれた人 45人	
人口 53,436人	亡くなった人 21人	
男 26,258人	転入した人 268人	
女 27,178人	転出した人 252人	

広報 向日市

No.437

昭和63年10月1日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111

第43回 国民体育大会 炬火が走る



10月13日~14日

大会旗・炬火

南山城村で採火された炬火「躍進の火」は、10月13日午後3時29分、長岡京市から乙訓橋西詰で引き継ぎます。引継ぎの後、13人で編成されたリレー隊によって、向日町地方振興局を経由して、午後3時46分に市役所に到着します。到着式では幼稚園児の集団演技、西山高校のバントワリング、ママさんコーラスの合唱などで、炬火の到着を歓迎します。
翌14日午前11時30分、出発式の後、物集女街道を北上がり、キリンビール京都工場正門で、京都市に引き継ぎます。

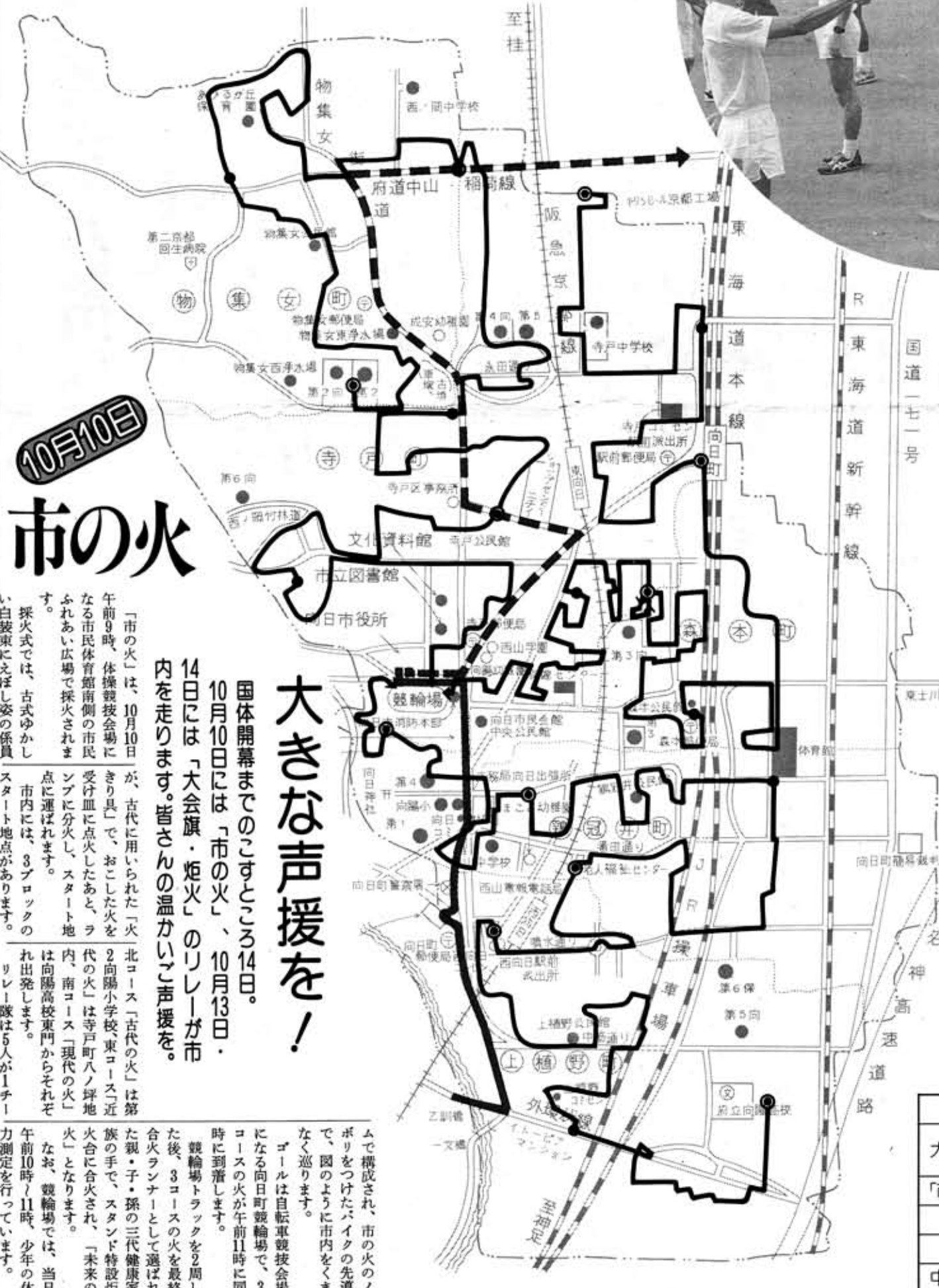
10月13日(木)

No	地名	到着時刻	出発時刻
1	乙訓橋西詰	15:29	15:33
2	向日町地方振興局	15:39	15:40
3	向日市役所	15:46	
■到着式 15:00~16:00■			

10月14日(金)

No	地名	到着時刻	出発時刻
3	向日市役所		11:30
■出発式 11:00~11:30■			
4	寺戸公民館	11:37	11:38
5	車塚古墳北側	11:43	11:44
6	西ノ岡中入口西側	11:50	11:51
7	キリンビール京都工場	11:57	12:00

凡例	
大会旗・炬火リレー	■■■■
「市の火」北コース古代の火	■■■■
東コース近代の火	■■■■
南コース現代の火	■■■■
中継地	●●



10月10日 市の火

「市の火」は、10月10日午前9時、体操競技会場になる市民体育館南側の市民ふれあい広場で採火されます。採火式では、古式ゆかし白装束にえんじ姿の係員が、古代に用いられた「火きり具」で、おこした火を受け皿に点火したあと、ランプに分火し、スタート地点に運ばれます。市内には、3プロットのスタート地点があります。リレー隊は5人が1チームで構成され、市の火のノボリをつけたバイクの先導で、図のように市内をくまなく巡ります。ゴールは自転車競技会場になる向日町競輪場で、3コースの火が午前11時に同時に到着します。競輪場トラックを2周した後、3コースの火を最終合火ランナーとして選ばれた親・子・孫の三代健康家族の手で、スタンド特設炬火台に合火され、「未来の火」となります。なお、競輪場では、当日午前10時~11時、少年の体力測定を行っています。

大きな声援を！

国体開幕までのこすところ14日。10月10日には「市の火」、10月13日・14日には「大会旗・炬火」のリレーが市内を走ります。皆さんの温かいご声援を。

■お願い■ 10月13日・14日は、大会旗・炬火リレーの到着式・出発式を行いますので、用務のため市役所へ車でこられる方は、庁舎北側の臨時駐車場をご利用ください。(庁舎前駐車場は使用できません)